

三井楽教会資料館収蔵の信心具について*

白濱 聖子^{***}、加藤 久雄^{**}、野村 俊之^{***}

Catholic faith tools of Miiraku church museum collection of the Goto Islands

Satoko SHIRAHAMA^{***}、Hisao KATO^{**}、Toshiyuki NOMURA^{***}

1. 概要

三井楽教会資料館収蔵の信心具20点について報告する。三井楽教会資料館には、地元のカクレキリシタンおよび復活後のカトリック信心具関連資料が豊富に収められている。本研究では、資料館にある近現代の資料20点について調査を行った。表1には資料リストを挙げる。報告する資料は、メダイ2点、十字架（卓上十字架、胸十字、ロザリオトップの十字架）7点、ロザリオ11点である。主に19世紀から20世紀のものが中心となる。詳細は、MIR001からMIR019とする20枚の資料カードに示した。

2. 各資料の特徴

以下では、復活期に該当する19世紀中期以降の主な資料の特徴を述べる。

MIR004

ロザリオトップの十字架は、木製の十字架を洋白製の十字架にはめ込んでいるタイプである。明治初年、宣教師が、カトリックに復帰した信徒やカクレキリシタンに配布したものである。これは、東京国立博物館の四番崩れ時の浦上信徒没収品（江口1972）に類例がある。しかし、19世紀中期のもののようにやすり目が目立たないなど作りが精緻であるので、製造年代を19世紀後期から20世紀初頭と推測している（加藤 2011）。また、死者と共に埋葬され、改葬時に発見された資料と同じような錆の進み具合であるので、今後収蔵経緯をさらに調査する必要がある。

MIR005

胸十字（天使のクロス）は、明治初年、宣教師が、カトリックに復帰した信徒やカクレキリシタンに配布したものである。十字架の裏には、「SOLIVENIR DE MISSION（宣教の記念）」と記されている。また、東京国立博物館の四番崩れ時の浦上信徒没収品（江口1972）に類例があり、

製造年代を19世紀後期（中期）と推測している。上五島の若松島の土井ノ浦教会カリスト史料館にも同様の十字架が収蔵されている（加藤 2011）。

MIR006

摩耗が著しく、作りが粗雑なため、明確なことは断言できないが、この胸十字もMIR005と類似した天使のクロスであると思われる。このことから、複製品と考えられ、使用していた十字架の踏み返しと考えられる。そのため、近代期に国内で作られたものと推測される。

MIR014

19C末～20C初頭に該当する胸十字架（アダムのクロス）と思われるものを転用したロザリオである。幼子イエスと聖ヨセフ像（表面）と無原罪の聖母（裏面）の刻まれた19世紀末のイエローグラス製のメダイが付属する。

MIR018-a

この胸十字架は清川沢二郎愛用の十字架である。清川沢二郎は下五島の姫島に生まれ、キリシタン復活の当時、上五島の桐の浦のガスバル下村与作等とともに五島列島で活躍した教会公認の信徒伝道士である（木場田1991）。長崎で2年間、昼間は神父たちや印刷の仕事を手伝い、夜は「公教要理」を勉強した。そして、沢二郎28歳の時、教会公認の信徒伝道士となった。沢二郎の伝道活動は数十年続けられ、下村与作と共に五島キリシタン復興の二本柱とされている。木製の十字架が洋白製の十字架にはめ込まれ、アダムの骸骨（1930年代以前の特徴）が付いていることから19世紀末から20世紀初頭にヨーロッパで製造されたものと考えられる。これは、沢二郎が伝道活動を行っていた時期とも重なる。

* Received January 5, 2015

** 長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部 経済政策学科, Department of Economic Policy, Faculty of Contemporary Social Studies, Nagasaki Wesleyan University, 1212-1 Nishieida, Isahaya, Nagasaki 854-0082, Japan

*** 長崎ウエスレヤン大学 地域総合研究所客員研究員

表-1 三井楽教会資料館 キリシタンおよび信心具資料リスト

整理番号	標準名	制作年代
MIR001	卓上十字架	20世紀
MIR002	メダイ	1975年
MIR003	不思議のメダイ	20世紀前期（中期）
MIR004	ロザリオトップの十字架	19世紀末～20世紀初頭
MIR005	胸十字	19世紀後期（中期）
MIR006	胸十字	19世紀後期以降
MIR007	1連ロザリオ	20世紀後期
MIR008	1連ロザリオ	20世紀後期（中期）
MIR009	2連ロザリオ	20世紀後期
MIR010	7連ロザリオ	20世紀後期（中期）
MIR011	ロザリオ	20世紀前期
MIR012	十字架の道行のロザリオ	20世紀前期（中期）
MIR013	七つの悲しみのロザリオ	20世紀前期（初頭）
MIR014	ロザリオ	20世紀初頭（19世紀末にも入る可能性あり）
MIR015	ロザリオ	20世紀前期
MIR016	大型ロザリオ	20世紀後期
MIR017	卓上十字架	20世紀前期
MIR018-a	胸十字（清川沢二郎の十字架）	19世紀末～20世紀初頭
MIR018-b	指ロザリオ	20世紀後期
MIR019	卓上十字架	20世紀前期（初頭）

3. 参考文献

江口正一 1972 『東京国立博物館図版目録 キリシタン関係遺品篇』（pp.210）東京美術
 加藤久雄 2011 「上五島のキリシタン遺物」『新上五島町北魚目の文化的景観保存計画』（Ip.346-354）新上五島町
 木場田直 1991 『血と涙と信仰の島 五島列島その昔』（pp.276）私家版

調査研究センター）・田中裕介（別府大学文学部教授）

本学関係者・学生諸氏

（順不同・敬称略）

本調査と報告にあたりまして、皆様のご助力とご指導を賜った。記して感謝申し上げたい。

謝辞

本調査は長崎ウエスレヤン大学地域総合研究所2014B3の補助を得ておこなわれたものである。現地での調査にご協力いただいた別府大学文学部学生松園菜穂氏・本学学生藤本新之助氏、調査のご許可を賜ったカトリック長崎大司教区、カトリック三井楽教会には厚く御礼申し上げたい。

濱崎清治（カトリック三井楽教会信徒役員）・美濃口雅朗（熊本市文化交流局文化振興課熊本城

資料情報カード

整理番号	MIR001			
標準名	卓上十字架(祭壇に置くものか?)			
数量	1点			
縦木 (残存部)	158mm			
横木	141mm			
イエス像 (頭から足台まで)	130mm			
(手から手)	71mm			
丸環部 (高さ)	なし			
(幅)	なし			
材質 (十字架)	木			
(イエス像)	土			
厚さ (イエス像含む)	24.67mm			
(含まない)	7.09mm			
罪状札 (縦)	なし			
(横)	なし			
イエス像などの止め方	針と止め金			
釘の径	なし			
光背の高さ	なし			
製作年代	20世紀※1			
製作地	イタリア?※2			
使用地	日本			
モチーフ (表)	磔にされたイエス			
(裏)	止め金			
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ イエスの膝が十字架から浮いている。 ・ 十字架の上部と表の左部分、裏の下部に欠損あり。 			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台はあるが、接続部がない。セットとして展示されているが、本来セットのものであるかは不明。 ※1 イエス像がリアルだが、作りが荒いため。 ※2 イタリアは一大産地のため。 			
その他の計測値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 止め金の大きさ(四角形)110mm×110mm (中心の止め金)直径4mm ・ 台の高さ 20mm ・ 台の径 55mm ・ 台の材質 金属 ・ 重さ (台)65.3g (十字架)116g 			
写真フィルム番号	DSC_0620	保管場所	三井楽教会資料館	

カード作成者 (松園菜穂)

2014年8月27日


資料情報カード

整理番号	MIR002		
標準名	メダイ		
数量	1点		
長径	18mm		
短径	18mm		
厚さ	19.5mm		
紐通し丸環部 (高さ)	3.5mm		
(幅)	4mm		
材質	銅合金		
製作年代	1975年(聖年のモチーフから)		
製作地	イタリア?		
使用地	日本		
モチーフ (表)	ローマ教皇(パウロ6世) PAULUS VI DONT MAX (教皇パウロ6世)		
(裏)	聖年のモチーフ [中央] ANNO SANT 1975 (聖年 1975) [右] SΨI MACO (SMACOか) [左] GIOVAN (下)AOLC (右下)ITALY		
特徴	聖年のモチーフから年代が特定できる。		
備考	見た目は古そうに見えるが新しい。		
写真フィルム番号	DSC_0634,DSC_0637	保管場所	三井楽教会資料館

カード作成者 (松園菜穂)

2014年8月27日

資料情報カード

整理番号	MIR003		
標準名	不思議のメダイ		
数量	1点		
長径	19.5mm		
短径	14mm		
厚さ	15.9mm		
紐通し丸環部 (高さ)	3mm		
(幅)	3mm		
材質	アルミ		
製作年代	20世紀前期(中期)※1		
製作地	イタリア?※2		
使用地	日本		
モチーフ (表)	<p>無原罪の聖母が両手から光を出している。この光は人々への恵みを注いでいることを表している。足元の地球は全世界を表す。踏み砕かれたヘビは悪霊・悪魔を表す。MARIA CONC. SENZA PECC.PREC.P.M.CHE RICORR. AVOI (イタリア語)「けがれなくやどられた聖マリア、あなたによりすぎる私たちのためにお祈りください」</p>		
(裏)	<p>12個の星は、12使徒の上に建てられた教会の母であり、母であるマリアを表す。十字は十字架上で亡くなったキリスト、Mはマリアの頭文字である。十字の下の線は、Iという頭文字を表し、Immaculata (けがれの無い)を表す。左の心臓のモチーフは、いばらのとげで傷ついたイエスの聖心、右は子供を犠牲とされ苦しみの剣で貫かれた聖母の聖心を表す。</p>		
備考	<p>ロザリオに付いていたもの。ガラスの青い珠が付いている。 ※1 アルミの質が悪く、Mの文字が広がっているため。 ※2 広がるMの文字はイタリアに多いため。また、言語がイタリア語であるため。</p>		
写真フィルム番号	DSC_0638,DSC_0641	保管場所	三井楽教会資料館

カード作成者 (松園菜穂)

2014年8月27日

資料情報カード

整理番号	MIR004		
標準名	ロザリオトップの十字架		
数量	1点		
縦木	41.5mm		
横木	29mm		
イエス像（頭から足台まで）	25mm		
（手から手）	20.5mm		
丸環部（高さ）	5.5mm		
（幅）	5.5mm		
材質（十字架）	洋白※1、木		
（イエス像）	洋白		
厚さ（イエス像含む）	6mm		
（含まない）	4mm		
罪状札（縦）	なし		
（横）	なし		
イエス像などの止め方	釘 4本		
釘の径	2.5mm		
光背の高さ	（縦）4.5×（横）7mm		
製作年代	19C末～20C初頭※2		
製作地	ヨーロッパ※3		
使用地	日本		
モチーフ（表）	礫にされたイエス		
（裏）	なし		
特徴	木製の十字架を洋白製の十字架にはめ込んでいる。		
類例	東京国立博物館の四番崩れ時の浦上信徒没収品に類似あり。		
備考	※1 緑青がでているため。		
	※2 洋白製の十字架に木製の十字架をはめ込んでいるため。		
	※3 ヨーロッパ圏の中でも、フランスまたはスペインの可能性が高い。		
写真フィルム番号	DSC_0646,DSC_0648	保管場所	三井楽教会資料館

カード作成者（ 松園菜穂 ）

2014年8月27日

資料情報カード

整理番号	MIR005		
標準名	胸十字		
数量	1点		
縦木	68.5mm		
横木	54.5mm		
イエス像 (頭から足台まで)	27.5mm		
(手から手)	24.5mm		
丸環部 (高さ)	9.5mm		
(幅)	9mm		
材質 (十字架)	イエローブラス※1		
(イエス像)	イエローブラス※1		
厚さ (イエス像含む)	4.5mm		
(含まない)	2mm		
罪状札 (縦)	5.5mm		
(横)	9.5mm		
イエス像などの止め方	接着剤か		
釘の径	なし		
光背の高さ	なし		
製作年代	19世紀後期(中期)		
製作地	南ヨーロッパ※2		
使用地	日本		
モチーフ (表)	天使のクロス		
(裏)	(縦)DE MISSION (横)SOLIVENIR		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天使の数が上部は2人、その他は3人となっている。 ・ 十字架にイエスを接着しているようである。 ・ 全体的にすり減っており罪状札・裏の文字はほぼ消えかけている。また、すり減っていて、てかりが出ている。 		
類例	東京国立博物館の四番崩れ時の浦上信徒没収品に類例あり。		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料館のキャプションに「明治初年、宣教師は、カトリックに復帰した信徒や隠れキリシタンにSOLIVENIR DE MISSION 宣教記念と記された十字架を配布した 寄贈者 I氏、T氏とある。 ※1 見た目が黄色いため。 ※2 裏の文字から判断した。 		
その他の計測値	重量 10g 天使の部分(3人) (縦)12mm (横)13mm (厚さ)2mm 天使の部分(2人) (縦)18mm (横)18mm (厚さ)2mm		
写真フィルム番号	DSC_0652,DSC_0654	保管場所	三井楽教会資料館

カード作成者 (松園菜穂)

2014年8月27日

資料情報カード

整理番号	MIR006		
標準名	胸十字		
数量	1点		
縦木	83.5mm		
横木	49.5mm		
イエス像 (頭から足台まで)	34mm		
(手から手)	27mm		
丸環部 (高さ)	7mm		
(幅)	10.5mm		
材質 (十字架)	イエローブラス※1		
(イエス像)	イエローブラス※1		
厚さ (イエス像含む)	11mm		
(含まない)	7mm		
罪状札 (縦)	5mm		
(横)	6mm		
イエス像などの止め方	鑄造		
釘の径	※2		
光背の高さ	なし		
製作年代	19世紀後半以降		
製作地	日本?※3		
使用地	日本		
モチーフ (表)	天使のクロス		
(裏)	数字(18 O 00) Oの部分は釘もしくは聖心。数字は1800か。		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ ※2 釘が簡略化されたもの、もしくは聖心か。 ・ 部分的にすり減っていたり、つくりが非常に粗雑であることから、本物からのコピーと見受けられる。 		
備考	※1 一部黄色にみえるため。 ※3 踏み返しと考えられるため。		
その他の計測値	※2 釘の径 [外側] (縦)8.5mm (横)8mm [内側] (縦)2mm (横)2.5mm [天使(2人)の部分] (縦)8mm (横)12mm (厚さ)8.5mm		
写真フィルム番号	IMG_0942,IMG_0947	保管場所	三井楽教会資料館

カード作成者 (松園菜穂)

2014年8月27日


資料情報カード

整理番号	MIR007	数量	1点
標準名	1連口ザリオ		
法 量	十字架		珠
	縦木	27.5mm	材質 樹脂
	横木	18mm	主の祈りの珠 (縦) なし
	イエス像 (頭から足台まで)	14.5mm	(横) なし
	(手から手)	12mm	天使祝辞の珠 (縦) 5.5mm
	丸環部 (高さ)	2.5mm	(横) 5.33mm
	(幅)	3mm	装飾 オレンジ色
	材質	固めの金属、銀メッキ	
	厚さ (イエス像含む)	2mm	メダイ
	(含まない)	2mm	
	罪状札 (縦)	なし	縦 mm
	(横)	なし	横 mm
	イエス像などの止め方	鑄造	厚さ mm
	釘の径	なし	丸環部 (高さ) mm
	光背の高さ	7mm	(横) mm
	モチーフ (表)	碟にされたイエス	モチーフ (表)
	(裏)		(裏)
		なし	
チェーン		材質	
材質	洋白	写真	
つくり	しっかり巻かれている		
製作年代	20世紀後期※1		
製作地	イタリア?※2		
使用地	日本		
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十字架は2段になっている。 ・ 光背の形はひし形になっている。 ・ センターメダイなし。 ・ 一連であり、手のひらに乗るサイズである。 		
備考	※1 樹脂が、均質だがあまり質が良くないため。 ※2 十字架の形から		
写真フィルム番号	IMG_0952	保管場所	三井楽教会資料館

カード作成者 (松園菜穂)

2014年8月27日

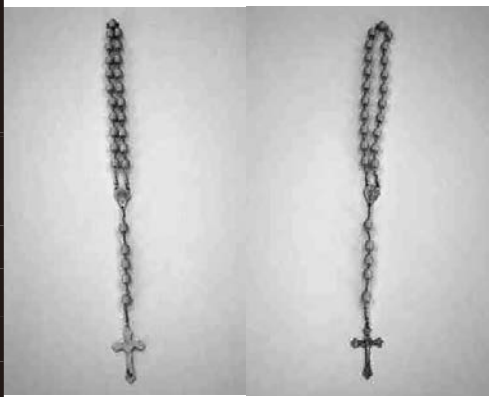
資料情報カード

整理番号	MIR008	数量	1点
標準名	1連ロザリオ		
法量	十字架		珠
	縦木	30.5mm	材質 樹脂
	横木	22mm	主の祈りの珠 (縦) なし
	イエス像 (頭から足台まで)	16.5mm	(横) なし
	(手から手)	14mm	天使祝辞の珠 (縦) 7.74mm
	丸環部 (高さ)	4mm	(横) 8.5mm
	(幅)	4mm	装飾 深い紫色に白が点々と混じっている
	材質	イエローブラス、銀メッキ	
	厚さ (イエス像含む)	1.65mm	メダイ
	(含まない)	1.06mm	
	罪状札 (縦)	なし	縦 mm
	(横)	なし	横 mm
	イエス像などの止め方	鑄造	厚さ mm
	釘の径	なし	丸環部 (高さ) mm
	光背の高さ	5.5mm	(横) mm
	モチーフ (表)	磔にされたイエス、ブドウ・小麦などの植物	モチーフ (表)
	(裏)	MADE IN ITALY	(裏)
	チェーン		材質
材質	洋白		
つくり	ロザリオトップとの接続部はしっかり巻かれている。珠と珠の間は簡素。		
製作年代	20世紀後期または中期※1		
製作地	イタリア※2		
使用地	日本		
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十字架の両端にブドウの葉がある。 ・ 十字架の下部にブドウの房がある。 ・ センターメダイなし。 		
備考	※1 十字架の形、珠の材質から ※2 十字架の裏の文字から		
写真フィルム番号	IMG_0960	保管場所	三井楽教会資料館

カード作成者 (松園菜穂)

2014年8月27日


資料情報カード

整理番号	MIR009		数量	1点
標準名	2連ロザリオ			
法量	十字架		珠	
	縦木	31.5mm	材質	樹脂
	横木	21mm	主の祈りの珠 (縦)	6.5mm
	イエス像 (頭から足台まで)	13.5mm	(横)	6.15mm
	(手から手)	11.5mm	天使祝辞の珠 (縦)	6.5mm
	丸環部 (高さ)	3mm	(横)	6.15mm
	(幅)	4mm	装飾	オレンジ色
	材質	真鍮に銀メッキ		
	厚さ (イエス像含む)	2.5mm	メダイ	
	(含まない)	1.2mm		
	罪状札 (縦)	なし	縦	14mm
	(横)	なし	横	11.5mm
	イエス像などの止め方	鑄造	厚さ	1.19mm
	釘の径	なし	丸環部 (高さ)	3mm
	光背の高さ	7.5mm	(横)	3mm
	モチーフ (表)	磔にされたイエス、ブドウ	モチーフ (表)	聖母マリア
	(裏)	MADE IN ITALYの文字	(裏)	AとMの文字 (MARIAの最初の文字)
チェーン		材質	真鍮、銀メッキ	
材質	洋白			
つくり	ロザリオトップとセンターメダイの接続部はしっかりと巻かれている。			
製作年代	20世紀後期※1			
製作地	イタリア※2			
使用地	日本			
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・光背の形が、貝殻状である。 ・主の祈りの珠と天使祝辞の珠の大きさが変わらない。 そのため、チェーンの長さで2つを区別している。			
備考	※1 十字架の形 ※2 十字架の裏の文字から			
写真フィルム番号	DSC_0676,DSC_0677		保管場所	三井楽教会資料館

カード作成者 (松園菜穂)

2014年8月28日


資料情報カード

整理番号	MIR010	数量	1点	
標準名	7連ロザリオ			
法量	十字架		珠	
	縦木	33mm	材質 樹脂	
	横木	22.5mm	主の祈りの珠 (縦) 8mm	
	イエス像 (頭から足台まで)	18.5mm	(横) 5.56mm	
	(手から手)	14.5mm	天使祝辞の珠 (縦) 9mm	
	丸環部 (高さ)	4.5mm	(横) 5.65mm	
	(幅)	4mm	装飾 黒色の珠の大きさは、それぞれ少しずつ異なる。	
	材質	イエローブラス		
	厚さ (イエス像含む)	1.5mm		
	(含まない)	1.16mm	メダイ	
	罪状札 (縦)	2.5mm	縦	12mm
	(横)	4.3mm	横	10mm
	イエス像などの止め方	鑄造	厚さ	1mm
	釘の径	なし	丸環部 (高さ)	4mm
	光背の高さ	7mm	(横)	4mm
	モチーフ (表)	磔にされたイエス、植物模様あり	モチーフ (表)	ルルドの聖母
	(裏)	ITALYの文字	(裏)	ITALYの文字、薔薇
	チェーン		材質	イエローブラス、銀メッキ
	材質	イエローブラス		
	つくり	ロザリオトップとの接続部はしっかりと巻かれている。		
製作年代	20世紀後期または中期(MIR009のロザリオより古い)※1			
製作地	イタリア※2			
使用地	日本			
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・主の祈りの珠と天使祝辞の珠の大きさが同じ。 ・ロザリオトップとセンターメダイの間にある天使祝辞の珠が異状に開いているため、不自然な印象である。 			
備考	※1 十字架の形、イエローブラスの材質、珠の形と作りから判断 ※2 十字架とメダイの裏の文字から			
写真フィルム番号	IMG_0997	保管場所	三井楽教会資料館	

カード作成者 (松園菜穂)

2014年8月27日


資料情報カード

整理番号	MIR011	数量	1点	
標準名	ロザリオ			
法量	十字架		珠	
	縦木	43mm	材質 木	
	横木	28mm	主の祈りの珠 (縦) 7mm	
	イエス像 (頭から足台まで)	なし	(横) 7.03mm	
	(手から手)	なし	天使祝辞の珠 (縦) 6.5mm	
	丸環部 (高さ)	5.5mm	(横) 6.9mm	
	(幅)	5.5mm	装飾	
	材質	木、イエローブラス		主の祈りの珠に円が重なっている模様がある。十字架上部にある天使祝辞の珠は面取りしているようだ。
	厚さ (イエス像含む)	なし		
	(含まない)	1.87mm		
	メダイ			
	罪状札 (縦)	なし	縦	18.5mm
	(横)	なし	横	13.5mm
	イエス像などの止め方	なし	厚さ	2.28mm
	釘の径	3mm	丸環部 (高さ)	4mm
	光背の高さ	なし	(横)	4mm
	モチーフ (表)	イエス像が紛失	モチーフ (表)	無原罪の聖母
	(裏)		(裏)	12個の星、十字架、Mの文字、2つの聖心。
チェーン		材質	アルミ	
材質	洋白			
つくり	ロザリオトップとメダイの接続部はしっかりと巻かれている。			
製作年代	20世紀前期※1			
製作地	フランス?※2			
使用地	日本			
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・十字架の内側に入っている木は左側が折れている。 ・釘の数は本来3本であった。(現在は2本のみ) ・十字架の下部、左側に製造時に出来たと思われるバリが残っている。 ・十字架の丸管部は左右対称ではない。右寄りである。 ・メダイは、不思議のメダイである。 ・メダイに摩耗していてよく読めないが、以下のような文字がある。 OMARY CONCENED VITMOUT SIMPRAY FOR US WHO HAVE RECOVRSE TO THE E上記の文字は、「O Mary, conceived without sin, pray for us who have recourse to thee (英語) けがれなくやどられた聖マリア、あなたによりすがる私たちのためにお祈りください」と書かれていると思われる。 ・センターメダイの部分がハート形になっている。 ・主の祈りの珠と天使祝辞の珠の間の部分はチェーンが長い。 			
	備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「聖母の七つの喜びのロザリオ — フランシスコ会の花冠 —」というパンフレットと一緒に展示がしてある。しかし、表紙に描いてあるロザリオと形が違う。 ※1 センターメダイがない、珠に特徴的な模様がある、木製の十字架がはめ込んであるが裏からは木製の十字架が見えないなどの点から判断。 ※2 センターメダイが針金でできたハート形であることから判断した。しかし、十字架の形がドイツのものに似ているため、断定できない。 		
写真フィルム番号	IMG_1014	保管場所	三井楽教会資料館	

カード作成者 (松園菜穂)

2014年8月28日

資料情報カード

整理番号	MIR012	数量	1点	
標準名	十字架の道行のロザリオ			
法量	十字架		珠	
	縦木	mm	材質	樹脂か木
	横木	mm	主の祈りの珠 (縦)	なし
	イエス像(頭から足台まで)	mm	(横)	なし
	(手から手)	mm	天使祝辞の珠 (縦)	6mm
	丸環部 (高さ)	mm	(横)	5.02mm
	(幅)	mm	装飾	黒い色の珠。メダイとメダイの間は3つ、センターメダイの下は6つ連なっている。
	材質			
	厚さ (イエス像含む)	mm		
	(含まない)	mm	センターメダイ	
	罪状札 (縦)	mm	縦	14.5mm
	(横)	mm	横	15.5mm
	イエス像などの止め方		厚さ	0.96mm
	釘の径	mm	丸環部 (高さ)	4mm
	光背の高さ	mm	(横)	4.5mm
	モチーフ (表)		モチーフ (表)	イエスを表す「IHS」の文字と、十字架 J BELIEVE. JAN/ A ⊃ (逆向きのC)HRISTIAN/ LONG LIVE JESUS
	(裏)		(裏)	羊と、十字架と、ひし形のようなマーク AGNUS DEI QUI TOLLIS PECCATA MUNDI
	チェーン		材質	アルミ
材質	鉄合金			
つくり	全体的に簡素なつくり			
製作年代	20世紀前期(中期)※1			
製作地	ヨーロッパ			
使用地	日本			
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・先端についているメダイは紛失している。 ・英語表記であることから、英語圏向けに作られたと考えられる。 ・センターメダイ裏にある羊の足の下に何かあるようだがはっきり見えない。 ・メダイのIからVIIは同じ向きだが、VIIIからXIVは逆向きになっている。 ・このロザリオのメダイは計15枚。この15枚の英文の下にはひし形のマークがある。 			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「長崎教区山口大司教認可 日本26聖人のコンタツ」というパンフレットと一緒に展示してあるが、パンフレットの中の日本26聖人コンタツの唱え方に書いてあるコンタツの図とMIR012のロザリオは形が違う。 ・センターメダイの表のモチーフについて、「IHS」は「Iesus Hominum Salvator」(人類の救世主イエス)を表し、銘文「J BELIEVE. JAN/ A ⊃ (逆向きのC) HRISTIAN/ LONG LIVE JESUS」は、「我信ず。我はキリスト者なり。イエズスに栄えあれ」と訳される。 ・センターメダイの裏の銘文「AGNUS DEI QUI TOLLIS PECCATA MUNDI」(ラテン語)は「世の罪を除き給う天主の子羊」と訳される。十字架を抱えた子羊が祭壇の上に載せられた様子が描かれている。 ※1 珠の真ん中に型線が入っていることと、チェーンが鉄合金であることから判断 			
	メダイ (I)		メダイ (II)	
	縦	17.5mm	縦	17.5mm
	横	13.8mm	横	13.99mm
	厚さ	0.71mm	厚さ	0.82mm
	丸幹部 (高さ)	4mm	丸幹部 (高さ)	4.1mm
	(横)	4.7mm	(横)	4.5mm
	モチーフ (表)	十字架の道行の第一の場面「ピラトの審問」	モチーフ (表)	十字架の道行の第二の場面「十字架を担うイエス」
	(裏)	I JESUS CONDEMNED TO DEATH	(裏)	II JESUS CARRIES HIS CROSS
	材質	アルミ	材質	アルミ

その他の計測値	メダイ (Ⅲ)		メダイ (Ⅳ)	
	縦	17.5mm	縦	17.8mm
	横	13.94mm	横	13.99mm
	厚さ	0.70mm	厚さ	0.77mm
	丸幹部 (高さ)	4.5mm	丸幹部 (高さ)	4.4mm
	(横)	4.5mm	(横)	4.7mm
	モチーフ (表)	十字架の道行の第三の場面「初めて倒れるイエス」	モチーフ (表)	十字架の道行の第四の場面「聖母とで会うイエス」
	(裏)	Ⅲ JESUS FALLS FOR THE FIRST TIME	(裏)	Ⅳ JESUS MEET MARY
	材質	アルミ	材質	アルミ
	メダイ (Ⅴ)		メダイ (Ⅵ)	
	縦	17mm	縦	17mm
	横	13.82mm	横	13.81mm
	厚さ	0.76mm	厚さ	0.86mm
	丸幹部 (高さ)	4.5mm	丸幹部 (高さ)	4.5mm
	(横)	5.0mm	(横)	4.9mm
	モチーフ (表)	十字架の道行の第五の場面「キレネ人シモンの助力を得るイエス」	モチーフ (表)	十字架の道行の第六の場面「イエスの顔を拭うエロニカ」
	(裏)	V SIMON HELPS JESUS TO CARRY HIS CROSS	(裏)	VI SAINT VERONICA WIPES THE FACE OF JESUS
	材質	アルミ	材質	アルミ
	メダイ (Ⅶ)		メダイ (Ⅷ)	
	縦	17.5mm	縦	17.5mm
	横	13.92mm	横	13mm
	厚さ	0.87mm	厚さ	0.8mm
	丸幹部 (高さ)	4.5mm	丸幹部 (高さ)	4.0mm
	(横)	4.7mm	(横)	4.7mm
モチーフ (表)	十字架の道行の第七の場面「再び倒れるイエス」	モチーフ (表)	十字架の道行の第八の場面「エルサレムの婦人を慰めるイエス」	
(裏)	VII JESUS FALLS FOR THE SECOND TIME	(裏)	VIII JESUS CONSOLES THE HOLY WOMAN	
材質	アルミ	材質	アルミ	
メダイ (Ⅸ)		メダイ (Ⅹ)		
縦	17.5mm	縦	17.1mm	
横	13.71mm	横	13.70mm	
厚さ	0.84mm	厚さ	0.83mm	
丸幹部 (高さ)	4.3mm	丸幹部 (高さ)	4.0mm	
(横)	4.8mm	(横)	4.8mm	
モチーフ (表)	十字架の道行の第九の場面「3度倒れるイエス」	モチーフ (表)	十字架の道行の第十の場面「聖衣略奪」	
(裏)	IX JESUS FALLS FOR THE THIRD TIME	(裏)	X JESUS STRIPPED	
材質	アルミ	材質	アルミ	
メダイ (Ⅺ)		メダイ (Ⅻ)		
縦	17.5mm	縦	17.8mm	
横	13.90mm	横	13.85mm	
厚さ	0.73mm	厚さ	0.87mm	
丸幹部 (高さ)	4.5mm	丸幹部 (高さ)	4.3mm	
(横)	4.5mm	(横)	4.8mm	
モチーフ (表)	十字架の道行の第十一の場面「十字架昇架」	モチーフ (表)	十字架の道行の第十二の場面「磔刑」	
(裏)	XI JESUS ATTACHED TO THE CROSS	(裏)	XII JESUS EXPIRES ON THE CROSS	
材質	アルミ	材質	アルミ	
メダイ (ⅩⅢ)		メダイ (ⅩⅣ)		
縦	17.3mm	縦	17.6mm	
横	13.80mm	横	13.82mm	
厚さ	0.84mm	厚さ	0.79mm	
丸幹部 (高さ)	4.3mm	丸幹部 (高さ)	4.5mm	
(横)	4.5mm	(横)	4.5mm	
モチーフ (表)	十字架の道行の第十三の場面「十字架降架」	モチーフ (表)	十字架の道行の第十四の場面「埋葬」	
(裏)	XIII JESUS TAKEN DOWN FROM THE CROSS	(裏)	XIV JESUS PUT INTO THE GRAVE	
材質	アルミ	材質	アルミ	
写真フィルム番号	IMG_1030	保管場所	三井楽教会資料館	

カード制作者 (松園菜穂)

2014年8月28日

資料情報カード

整理番号	MIR013	数量	1点	
標準名	七つの悲しみのロザリオ			
法量	十字架		珠	
	縦木	mm	材質	
	横木	mm	樹脂	
	イエス像 (頭から足台まで)	mm	主の祈りの珠 (縦)	なし
	(手から手)	mm	(横)	なし
	丸環部 (高さ)	mm	天使祝辞の珠 (縦)	6mm
	(幅)	mm	(横)	6.42mm
	材質		装飾	薄い緑にドット状の濃い緑が入った珠。メダイとメダイの間は7つセンターメダイと先端のメダイ間は3つ連なっている。
	厚さ (イエス像含む)	mm		
	(含まない)	mm		
			センターメダイ	
	罪状札 (縦)	mm	縦	17.3mm
	(横)	mm	横	13.67mm
	イエス像などの止め方		厚さ	0.79mm
	釘の径	mm	丸環部 (高さ)	4.5mm
	光背の高さ	mm	(横)	4.5mm
	モチーフ (表)		モチーフ (表)	聖母が老シメオンの予言によって悲しむ留。
	(裏)		(裏)	7本の剣で心臓を刺し貫かれた聖母マリアと「VIRGO SEPIEM DOLORUM」の文字
		チェーン	材質	
材質	洋白		アルミ	
つくり	メダイの上下のみしっかり巻かれている。			
製作年代	20世紀前期 (初頭) ※1			
製作地	ヨーロッパ (フランス?) ※2			
使用地	日本			
所見	<ul style="list-style-type: none"> メダイは合計で8枚。先端のメダイが他のメダイに比べて大きい。 メダイの裏のモチーフはすべて同じで、7本の剣で心臓を刺し貫かれた聖母マリアと「VIRGO SEPIEM DOLORUM」(ラテン語)で「七つの悲しみの聖母」の文字が見られる。 メダイVと先端のメダイは同じ場面が描かれているが、メダイVには先端のメダイにみられるような文字は存在しない。 			
備考	<ul style="list-style-type: none"> 「聖母の七つの悲しみ」と題した手書きのメモと一緒に展示してある。 ※1 アルミの質が悪い点、接続のチェーンがていねいに巻かれている点から判断。 ※2 フランスは七つの悲しみのロザリオの一大産地であるため。アルミを早い時期に使うのがフランス産の特徴である。 			



その他の計測値	先端のメダイ		メダイ (Ⅱ)	
	縦	21.8mm	縦	17mm
	横	17.11mm	横	13.65mm
	厚さ	1.12mm	厚さ	0.8mm
	丸幹部 (高さ)	3.7mm	丸幹部 (高さ)	4mm
	(横)	5mm	(横)	4.5mm
	モチーフ (表)	磔にされたイエスとPRO NOBIS MORTUUS EST (ラテン語)「彼は私たちのために死んだ」の文字	モチーフ (表)	聖母がエジプトへ逃避する留。
	(裏)	7本の剣で心臓を刺し貫かれた聖母マリアと「VIRGO SEPIEM DOLORUM」の文字	(裏)	7本の剣で心臓を刺し貫かれた聖母マリアと「VIRGO SEPIEM DOLORUM」の文字
	材質	アルミ	材質	アルミ
	メダイ (Ⅲ)		メダイ (Ⅳ)	
	縦	16.5mm	縦	16.3mm
	横	14.2mm	横	13.62mm
	厚さ	0.77mm	厚さ	0.84mm
	丸幹部 (高さ)	4.4mm	丸幹部 (高さ)	4.5mm
	(横)	4.6mm	(横)	4mm
	モチーフ (表)	聖母が御子を見失う留	モチーフ (表)	聖母がカルワリオへの途上で御子と出会う留
	(裏)	7本の剣で心臓を刺し貫かれた聖母マリアと「VIRGO SEPIEM DOLORUM」の文字	(裏)	7本の剣で心臓を刺し貫かれた聖母マリアと「VIRGO SEPIEM DOLORUM」の文字
	材質	アルミ	材質	アルミ
	メダイ (Ⅴ)		メダイ (Ⅵ)	
	縦	17.5mm	縦	17.5mm
	横	14.8mm	横	14mm
	厚さ	0.8mm	厚さ	0.92mm
	丸幹部 (高さ)	4mm	丸幹部 (高さ)	4.2mm
	(横)	4.3mm	(横)	4.5mm
	モチーフ (表)	聖母が十字架のもとにたたずむ留	モチーフ (表)	聖母が御子の亡骸を抱く留
	(裏)	7本の剣で心臓を刺し貫かれた聖母マリアと「VIRGO SEPIEM DOLORUM」の文字	(裏)	7本の剣で心臓を刺し貫かれた聖母マリアと「VIRGO SEPIEM DOLORUM」の文字
	材質	アルミ	材質	アルミ
	メダイ (Ⅶ)		メダイ	
縦	17.1mm	縦		
横	14.4mm	横		
厚さ	0.75mm	厚さ		
丸幹部 (高さ)	4mm	丸幹部 (高さ)		
(横)	4.5mm	(横)		
モチーフ (表)	御子が墓に葬られる留	モチーフ (表)		
(裏)	7本の剣で心臓を刺し貫かれた聖母マリアと「VIRGO SEPIEM DOLORUM」の文字	(裏)		
材質	アルミ	材質		
写真フィルム番号	IMG_1105	保管場所	三井楽教会資料館	

カード制作者 (松園菜穂)

2014年8月28日


資料情報カード

整理番号	MIR014	数量	1点	
標準名	ロザリオ			
法量	十字架(アダムのクロス) 19C末~20C初頭 ※1		珠	
	縦木	101mm	材質	
	横木	54mm	主の祈りの珠 (縦)	木製(大きさにムラがあるため)
	イエス像 (頭から足台まで)	46.17mm	(横)	6.92mm
	(手から手)	39.36mm	天使祝辞の珠 (縦)	8.06mm
	丸環部 (高さ)	9mm	(横)	7.47mm
	(幅)	4mm		6.26mm
	材質	イエローブラスに銀メッキ、木	装飾	なし
	厚さ (イエス像含む)	10.66mm	メダイ 19C後期 ※2	
	(含まない)	5.53mm		
	罪状札 (縦)	9mm	縦	37mm
	(横)	8mm	横	31mm
	イエス像などの止め方	釘	厚さ	4.32mm
	釘の径	(表)1mm (裏)2mm	丸環部 (高さ)	5mm
	光背の高さ	12mm	(横)	5mm
	モチーフ (表)	磔にされたイエス	モチーフ (表)	無原罪の聖母
	(裏)	イエスの聖心	(裏)	幼子イエスとエセフ像
	チェーン		材質	イエローブラス
材質	洋白			
つくり	メダイや、センターメダイの部分は巻かれているが、他は簡素。			
製作年代	20世紀初頭(19世紀末に入る可能性あり) ※3			
製作地	フランス※4			
使用地	日本			
所見	<p>・十字架は、胸十字架からの転用。</p> <p>・アダムのクロス (18世紀から20世紀前半に出回った) が紛失して釘だけになっている。</p> <p>・メダイをつけたチェーンが他のチェーンと、材質・太さが異なる。後で付けた可能性あり。</p> <p>・主の祈りの珠は横長、天使祝辞の珠は縦長である。</p> <p>・光背が太陽の様な形をしている。</p> <p><メダイの表のモチーフ> 不思議のメダイと表が同じ。メダイに以下の文字あり。 O MARIE CONCUE SANS PECHE PRIEZ POUR NOUS QUI AVONS RECOURS (Eの間違いか) A (間違えて書いたのか) VODS (フランス語)「けがれなくやどられた聖マリア、あなたによりすがる私たちのために祈りください」と書かれている。</p> <p><メダイの裏のモチーフ>メダイに以下の文字あり。 S. JOSEPH PRIEZ POUR NOUS (フランス語)「聖ジョセフ、私たちのために祈りください」と書かれている。</p>			
備考	<p>※1 木製の十字架を金属製の十字架にはめ込んでいるため。</p> <p>※2 メダイが大きく、材質がアルミではないため。</p> <p>※3 主の祈りの珠と天使祝辞の珠の大きさに差がないため。</p> <p>※4 センターメダイがなく、針金でできたハート形であるため。</p>			
その他の計測値	イエスの聖心 (縦)10mm (横) 9mm			
写真フィルム番号	IMG_0837,IMG_0843,IMG_0844	保管場所	三井楽教会資料館	

カード制作者 (白濱聖子)

2014年8月29日

資料情報カード

整理番号	MIR015	数量	1点
標準名	ロザリオ		
法量	十字架		珠
	縦木	62.37mm	材質 木製または種(ドングリ)※1
	横木	36.89mm	主の祈りの珠 (縦) 13.54mm
	イエス像 (頭から足台まで)	30.22mm	(横) 12.71mm
	(手から手)	24.46mm	天使祝辞の珠 (縦) 12.75mm
	丸環部 (高さ)	6mm	(横) 12.66mm
	(幅)	6mm	装飾 主の祈りの珠だけに縦線と、丸の真ん中に点のついた装飾あり。
	材質	プラスチック	
	厚さ (イエス像含む)	6.87mm	聖母子とノートルダム・ドゥ・ラ・ガルド寺院のメダイ
	(含まない)	3.33mm	縦 21mm
	罪状札 (縦)	5mm	横 12mm
	(横)	7mm	厚さ 2.27mm
	イエス像などの止め方	掘り出し	丸環部 (高さ) 4mm
	釘の径	なし	(横) 4mm
	光背の高さ	3mm	モチーフ (表) 聖母子※2
	モチーフ (裏)	磔にされたイエス、植物の葉のような模様	(裏) ノートルダム・ドゥ・ラ・ガルド寺院※3
	(裏)	なし	チェーン 材質 真鍮(イエローブラス)
	チェーン	材質	真鍮(イエローブラス)
材質	洋白(緑青がでているため)		
つくり	センターメダイの部分などは巻いているが、あとは簡素		
製作年代	20世紀前期 ※4		
製作地	フランス※5		
使用地	日本		
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・十字架のみ再利用か。 ・天使祝辞の珠より主の祈りの珠の方が少し縦に長い。 ・聖母子とノートルダム聖堂のメダイは19世紀末から20から20世紀初頭に存在する。特徴はメダイが縦長に楕円形で、聖母のモチーフがみられる点である。(聖母と聖堂のセット)。 ※2 メダイの表に以下の文字あり。 NOTRE-DAML DE LA GARDL P.P.N (ノートルダム・ドゥ・ラ・ガルド寺院か) (フランス語) ※3 メダイの裏に以下の文字あり。 SANCTUAIRE DE NDUELA GARDE (聖域NDUELAからのカードか) (フランス語) ・センターメダイがハート形である。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・展示のキャプションに「明治初年頃よりT家の先祖が使用していた 昭和55年 Tに寄贈」とある。 ※1 木製の可能性が高い ※4 珠の様子が簡素化しているため ※5 センターメダイがないため 		
その他の計測値	神父とゆりのメダイ 20世紀後半(ゆりのモチーフから) 縦20mm 丸環部(高さ)4mm 厚さ2.03mm 横20mm (幅)4mm 材質 真鍮(イエローブラス) モチーフ(表)ジャン＝マリー・ヴィアンネ神父象 SADNI JBN VIANNEY CURE DANOP.P.N (裏)百合の花		
写真フィルム番号	IMG_1072,IMG_1102,IMG_1104	保管場所	三井楽教会資料館

カード制作者 (白濱聖子)

2014年8月29日

資料情報カード

整理番号	MIR016	数量	1点	
標準名	大型ロザリオ			
法量	十字架		珠	
	縦木	171mm	材質	樹脂
	横木	72mm	主の祈りの珠 (縦)	28.75mm
	イエス像 (頭から足台まで)	124mm	(横)	23.54mm
	(手から手)	44mm	天使祝辞の珠 (縦)	28.37mm
	丸環部 (高さ)	なし	(横)	22.29mm
	(幅)	なし	装飾	薔薇の装飾または人の顔
	材質	樹脂		
	厚さ (イエス像含む)	19.33mm	メダイ	
	(含まない)	8.91mm		
	罪状札 (縦)	18mm	縦	122mm
	(横)	15mm	横	77mm
	イエス像などの止め方	掘り出し	厚さ	30.76mm
	釘の径	なし	丸環部 (高さ)	なし
	光背の高さ	7mm	(横)	なし
	モチーフ (表)	磔にされたイエス	モチーフ (表)	聖母子像(20世紀に多い)
(裏)	なし(ヤスリで磨いた痕跡あり)	(裏)	なし	
チェーン		材質	樹脂	
材質	ステンレス、スズの入った合金か			
つくり	つくりが簡素である。			
製作年代	20世紀後期 ※1			
製作地	イタリア			
使用地	日本			
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聖地巡礼のお土産品か。 ・ 罪状札は、札の囲みはなく、文字のみである。 ・ 主の祈りの珠と天使祝辞の珠の大きさはあまり差がない。 ・ 十字架が奇抜な形である。 			
備考	※1 ・ 奇抜な十字架 ・ 材質 ・ メダイのモチーフから判断した。			



写真フィルム番号

IMG_1254


保管場所

三井楽教会資料館

カード制作者 (白濱聖子)

2014年8月28日

資料情報カード

整理番号	MIR017		
標準名	卓上十字架		
数量	1点		
縦木	307mm		
横木	153mm		
イエス像（頭から足台まで）	107mm		
（手から手）	80mm		
丸環部（高さ）	なし		
（幅）	なし		
材質（十字架）	木製、金属		
（イエス像）	木製、金属		
厚さ（イエス像含む）	28.47mm		
（含まない）	15.75mm		
罪状札（縦）	13mm		
（横）	26mm		
イエス像などの止め方	釘、糸		
釘の径	3.28mmと1.76mm		
光背の高さ	なし		
製作年代	20世紀前期※1		
製作地	ヨーロッパ※2		
使用地	日本		
モチーフ（表）	磔にされたイエス		
（裏）	なし		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 向かって右手のイエスの手が折れている。 ・ 台に赤と青で塗った痕跡あり。台の前の部分が欠損している。 ・ 罪状札が縦についている。 ・ 上からみると、十字架は、台に対して平行ではなく、少し斜めの状態で立っている。 ・ 頭の特徴から、別の十字架のイエス像をつけた可能性がある。 		
備考	<p>・ 展示のキャプションには、「全贖宥のかかった明治初期の十字架 姫島の人びとは臨終に際し、信望愛の心を起させ、この十字架を胸に抱かせ心から罪を痛悔しイエズスの御名を唱えながら静かに神の許に召された。（特に荒天で舟を出し司祭をお迎えすることができない場合）寄贈者 長崎市K氏」とある。</p> <p>※1 イエス像の形が適度にリアルなため。</p> <p>※2 十字架の製作地は不明だが、イエス像はヨーロッパでしか製作されていないためヨーロッパ製と考えられる。</p>		
その他の計測値	<p>全体の高さ 346mm</p> <p>台(高さ)40mm (幅)115mm (奥行き)115mm</p> <p>重量 448g</p>		
写真フィルム番号	IMG_1133	保管場所	三井楽教会資料館

カード作成者（白濱聖子）

2014年8月28日

資料情報カード

整理番号	MIR018-a		
標準名	胸十字架(手持ち用十字架)		
数量	1点		
縦木	157mm		
横木	79mm		
イエス像(頭から足台まで)	68mm		
(手から手)	43mm		
丸環部(高さ)	なし		
(幅)	なし		
材質(十字架)	イエローブラス,銀メッキ		
(イエス像)	イエローブラス,銀メッキ		
厚さ(イエス像含む)	15mm		
(含まない)	7mm		
罪状札(縦)	10.77mm		
(横)	14.79mm		
イエス像などの止め方	釘		
釘の径	※1		
光背の高さ	15mm		
製作年代	19世紀後期		
製作地	ヨーロッパ※2		
使用地	日本		
モチーフ(表)	磔にされたイエス		
(裏)	板に固定されているため、確認できない		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光背が太陽の様な形をしている。 ・ 罪状札が縦になっている。しかし、罪状札がしっかり止められていなかったため、動いている可能性あり。 ・ 釘の径・形が異なるため罪状札とアダムのクロスは付け直している可能性がある。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清川沢二郎氏、愛用の品。 ※2 罪状札が縦になっている、アダムのクロスが付いている、茨の冠・着衣の像用が細い、木製の十字架を金属の十字架にはめ込んでいる点から、ヨーロッパの中でもフランス製と思われる。		
その他の計測値	※1イエス像 1mm 光背 2mm 罪状札(アダムのクロス)3mm アダムのクロス(高さ)16mm (幅)12mm 重量 326g(板を含む)		
写真フィルム番号	IMG_1126,IMG_1131	保管場所	三井楽教会資料館

カード作成者(白濱聖子)

2014年8月28日

資料情報カード


整理番号	MIR018-b	数量	1点
標準名	指口ザリオ		
法 量	十字架		珠
	縦木	16mm	材質 銅合金
	横木	11mm	主の祈りの珠 (縦) なし
	イエス像 (頭から足台まで)	9mm	(横) なし
	(手から手)	8mm	天使祝辞の珠 (縦) 7mm
	丸環部 (高さ)	なし	(横) 7mm
	(幅)	なし	
	材質	銅合金	装飾 ※1
	厚さ (イエス像含む)	4.2mm	
	(含まない)	2.5mm	メダイ
	罪状札 (縦)	なし	縦 mm
	(横)	なし	横 mm
	イエス像などの止め方	鑄造	厚さ mm
	釘の径	なし	丸環部 (高さ) mm
	光背の高さ	なし	(横) mm
	モチーフ (表)	十字架、磔にされたイエス	モチーフ (表)
	(裏)	聖母子像、JAPANの文字	(裏)
	チェーン		材質
材質	銅合金		
つくり	鑄造		
製作年代	20世紀後期※2		
製作地	イタリア?※3		
使用地	日本		
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十字架の形が、ふちどりした様な形になっている。 ・ メダイはなし。 		
備考	※1 装飾(表)†AVE†MARIA (珠1つに1文字ずつ書かれている) (裏)薔薇 ※2 指口ザリオは20世紀後期によく製作されているため。 ※3 一大産地がイタリアであるため。また、聖母がイタリア製のものに似ているため。		
その他の計測値	重量 11g		
写真フィルム番号	IMG_1234,IMG_1237	保管場所	三井楽教会資料館



カード制作者 (白濱聖子)

2014年8月28日

資料情報カード

整理番号	MIR019		
標準名	卓上十字架		
数量	1点		
縦木	230mm		
横木	105mm		
イエス像 (頭から足台まで)	70mm		
(手から手)	51mm		
丸環部 (高さ)	なし		
(幅)	なし		
材質 (十字架)	木製、樹脂		
(イエス像)	鉄合金※1		
厚さ (イエス像含む)	17.40mm		
(含まない)	11.39mm		
罪状札 (縦)	なし		
(横)	なし		
イエス像などの止め方	釘		
釘の径	1.93mm		
光背の高さ	なし		
製作年代	20世紀前期 (初頭) ※2		
製作地	ヨーロッパ		
使用地	日本		
モチーフ (表)	磔にされたイエス		
(裏)	なし		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十字架の先の3点にベレー帽状の白い樹脂が付いている。 ・ 台の黒い塗装がほとんど剥がれている。 ・ 台の底に穴が開いている。 ・ 罪状札の痕跡あり。 		
備考	※1 赤錆が出ているため。 ※2 イエス像の作り方があまいため。		
その他の計測値	全体の高さ 280mm 台(高さ)54mm (径)59mm (重量)74g (材質) 木		
写真フィルム番号	IMG_1208,IMG_1215	保管場所	三井楽教会資料館

カード作成者 (白濱聖子)

2014年8月28日